

パッシブ設計・構造計画セミナーに参加しました

1/27 熊本市であった上記講習会に参加してきました。講師の松尾和也氏はパッシブ設計の第一人者として有名です。H28.8.2の福岡での講習会に続くものでした。

「パッシブ住宅とは太陽に素直な住宅」といわれるように、夏の太陽をうまく遮蔽し、冬の太陽を取り入れる住宅といえます。ZEH住宅といえば高気密高断熱が強調されますが、実際は太陽光の取扱いが重要だという事です。高気密高断熱の住宅に夏の陽射しが差し込むと部屋は輻射熱で暑くなり、更にその熱が逃げない為に冷房エネルギーが余分に必要になります。冬は太陽光を取り入れることで暖房費用を削減する事もできます。季節ごとの太陽の高さに合わせた庇やシェードの設置、落葉樹の活用等、住宅全体で考える事が大事です。「健康で快適な省エネ住宅の半分はプランニングで決まり、設備は残り半分」ということです。断熱性能は屋根：壁＝2:1位が必要であり、南側の庇の出はサッシュ高さの3/10程度が必要です。その他、家の形状や周りの条件によるエネルギー効率の違い等の話があり、計画時にどれだけ状況を予測し計画できるかがポイントという事でした。例えばL字形の住宅の場合その欠けの位置で住宅の快適性が違い、同じ総床面積でも表面積は変わるので熱効率が変わる、エアコン1台で全館冷暖房できる。など、「目からうろこ」の感がありました。講演中出てきた言葉を調べて見ました。

C値……床面積に対する隙間面積(機密性を表す。筋違い、面材による違い)

Q値……床面積に対する熱損失(断熱度を表す、断熱材やサッシュ性能)

Ua値……外皮平均熱貫流率、熱損失を外気に接する面積で除した数値

ηA 値……冷房期の平均日射熱取得率(日射侵入量を外皮面積で序した数値)

COP……業務用エアコンを一定条件で運転した場合の性能、

APF……使用時に近い条件で年間を通じた総合負荷と消費電力量から効率を表示

また、主催者のコイブ・レザベングから「大手ハウスメーカーは100項目以上の安全ルールを守って設計している。一般の設計事務所や工務店は勝手に設計しており、将来が心配。白蟻の被害も大手は0.04%であるが、工務店は2~4%と50~100倍の発生率である。「ハウスガード プランニングルールBOOK」等を参考に安全で快適な省エネ住宅の普及に努めて欲しい」とあった。

【情報】

「腐らない木で建てる家」セミナーが開催されます

日時 2月13日(月) 13:30~17:00

場所 ホテルタイセイアネックス 3-B

内容 ハウスガードシステムのコンセプト住宅

部材精度と施工事例

パーマエクセルの外構事例

申込 HG 会員限定の為当社へ御連絡下さい

【定休日】

2月は5, 11, 12, 18, 19, 25, 26日となります

3月は5, 11, 12, 18, 19, 25, 26日となります

宜しくお願いします。



日光 男体山